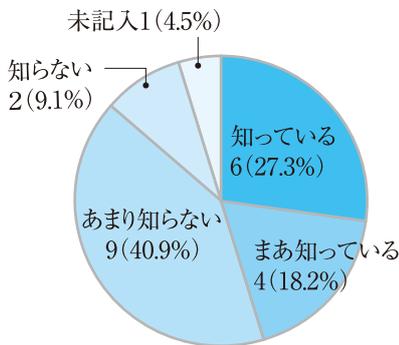


学校と地域との協働活動についてのアンケート調査結果

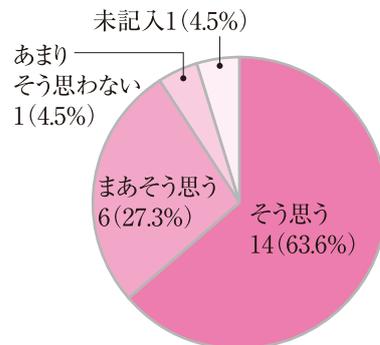
■回答自治会数：22(26自治会中)

●コミュニティ・スクールについて 知っていますか



※割合は四捨五入しているため合計100%にならない場合があります

●学校と地域とが 連携・協働することは、子どもに って意義あることだと思うか



●貴自治会が主催して行っている 子どもを対象にした組織や 活動・行事は？

名称	自治会数
どんど焼き	10
スポーツ・レクリエーション	9
季節の祭り	8
神社などの祭り	7
ふれあい会	6

※数の多い活動を掲載しています

●貴自治会以外で、 地域主催の子どもを対象にした 組織や活動・行事は？

名称	自治会数
どんど焼き・道祖神	6
登下校の見守り	2



子どもを対象とした活動や行事を行う際の課題や、 課題解決のために取り組んでいることは？（記述抜粋）

- | | |
|-----|---|
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが参加できる事業の実施に苦慮している。 子どもの数が把握できない。 子どもの人員数の減少。（昔は子ども会が対応していた） いつも決まっている子が参加している。 中心となる大人が高齢者で、子どもの興味が分からない。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが食べられる物を用意するように心がけている。 自治会としては、子どもから高齢者の交流を大切にしている。 親と一緒に参加していただくよう回覧で周知している。 友達の友達に声掛けしている。 |



◎社会教育委員会議事事務局 生涯学習推進課 生涯学習係 ☎(83)7021

社会教育委員会議事では、令和6年度より「学校・家庭・地域の連携・協働を図るための社会教育のあり方」をテーマに、調査・研究を行っています。6年度は、小・中学生とその保護者、教職員を対象に、学校と地域との協働活動についてアンケートを実施しました。令和7年度はコミュニティ・スクールが導入されたことにより、各自治会長を対象にアンケート調査を実施しましたので、その結果の概要をお知らせします。

※コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会を設置した学校」のことで、学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのより良い環境づくりに取り組む「地域と共にある学校」をめざすための仕組みです。

アンケート結果から

- 「学校と地域とが連携・協働することは、子どもにとって意義がある」とする回答は、昨年度アンケートの対象であった小・中学校保護者や教職員と同様に9割を超える。
- 自治会が子どもの行事開催に苦勞しながらも、工夫しながら実施している様子がうかがえる。
- 子どもの人数の減少、自治会役員の高齢化により、子どもの活動が困難になってきている。
- コミュニティ・スクールの認知度は、半数程度。今後さらに周知を図る必要がある。
- 学校との関わりについて、すでに関わっている自治会が約4割。関わる事が可能な自治会が約4割であり、今後さらに学校との連携・協力の推進が必要である。